

●5年間の地域のみどりの増減（平成23年度及び平成28年度世田谷区みどりの資源調査報告書から）

面積を除き(m <sup>2</sup> )	桜新町1丁目			深沢7丁目			深沢8丁目		
	H28(2016)	H23(2011)	増減	H28(2016)	H23(2011)	増減	H28(2016)	H23(2011)	増減
面積(ha)	21.50	21.70	-0.20	23.20	23.00	0.20	13.30	13.30	0.00
樹木 a	33,268	30,734	2,534	47,916	44,887	3,029	38,044	35,192	2,852
竹林 b	130	150	-20	64	63	1	515	428	87
草地 c	2,547	2,406	141	4,858	5,344	-486	4,044	2,510	1,534
農地 d	2,300	2,682	-382	0	1,116	-1,116	0	0	0
屋上緑地 e	256	367	-111	1,272	1,087	185	212	288	-76
水面 f	0	0	0	66	69	-3	137	90	47
裸地 g	2,432	4,304	-1,872	3,605	4,851	-1,246	2,367	3,389	-1,022
緑被 a+b+c+d+e	38,502	36,339	2,163	54,111	52,497	1,614	42,816	38,418	4,398
自然面 緑被+f+g	40,933	40,644	289	57,782	57,416	366	45,319	41,897	3,422
みどり面	38,899	36,867	2,032	54,691	53,152	1,539	43,232	38,832	4,400
緑被率(%)	17.91	16.75	1.16	23.32	22.82	0.50	32.19	28.89	3.30
自然面率(%)	19.04	18.73	0.31	24.91	24.96	-0.05	34.07	31.50	2.57
みどり率(%)	18.09	16.99	1.10	23.57	23.11	0.46	32.51	29.20	3.31

●まちのニュース

●「サザエさん通り」の標識設置（図：区報6/15掲載の一部）

サザエさん通りは、右図の⑱の二股になった通りです。



●モザンビーク共和国大使館、桜新町1丁目長谷川町子美術館並びに開設（7/25）



モザンビーク共和国の国旗

面積：79.9万平方km（日本の2.1倍）  
 人口：2,883万人（2016年、世銀）  
 首都：マプト 人口約127万人  
 （2017年モザンビーク統計局推計人口）  
 言語：ポルトガル語  
 宗教：キリスト教41% イスラム教17.8%  
 原始宗教  
 歴史：1975年にポルトガルから独立  
 （外務省のHPから 右図共）



●さくらフォーラムから

●本号に記載の区の資料は、区のホームページでご覧になれます。（図は、区の許諾を得て掲載しました。）

●玉川公園管理事務所池田所長との意見交換会開催（9/25） →次号で概要をご紹介する予定です。

桜並木の西・南大通りで、腐朽・空洞率が60%を超えている8本のサクラを近々、植替える予定とのこと。

●「深沢・桜新町100年史」の有償版（定価500円）を増刷・配布しています。

購入ご希望の方は、下記までなるべくファックスで、ご住所、お名前、お電話番号をお知らせの上、お申込みください。

●会員募集中：この地域の景観・環境・みどりなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。

発行元：深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話：03(3702)3274 FAX:03(3702)3219  
 ©深沢・桜新町さくらフォーラム、2017  
 世田谷区地域の絆連携活性化事業補助金を申請して作成しました。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくり活動に取り組む団体です。<http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 2面：みどり特集、3面：サザエさん通りのツバメ、4面：まちのニュースほか

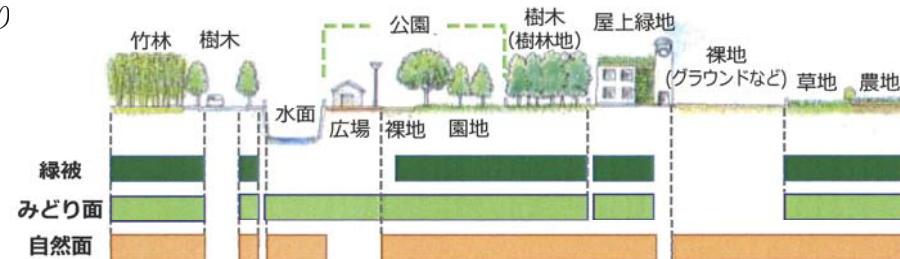
今号は みどりについての世田谷区の政策や調査の特集です。2面に続きます。

●「世田谷みどり33」をご存じですか？

世田谷区は、区制100周年（2032年）に区の面積の1/3をみどり面にする（みどり率33%を実現する）『世田谷みどり33』の達成をめざしています。（2016年度調査時点では、25.18%です。）

2016年の私たちの地域\*のみどり

率は、どれくらいでしょう？



みどり面は、図のように緑被に水面と公園の緑被以外（裸地、舗装面、建物面）の部分を加えたものです。

●5年前と比べて、みどりが増えたと思いますか？

図出典：世田谷区みどりの基本計画素案 p4

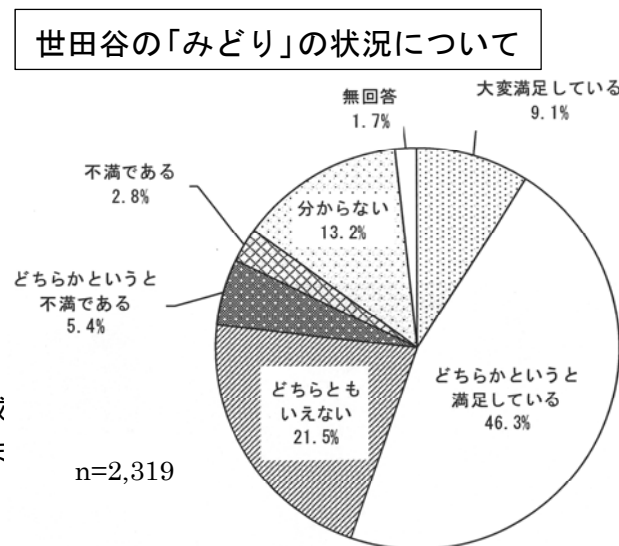
区のみどりの資源調査によれば、2011年から2016年までの5年間に、区全体でも私たちの地域\*でも、緑被もみどり面も増えています。

みなさんの実感とくらべて、いかがでしょうか？

●世田谷のみどりの状況について、半数以上の区民が満足しています。（2017年5月調査）

みなさんは、どうお感じですか？

この質問では、「『みどり』とは、土、植物、水など自然を構成する要素と、人のかかわりによる文化や歴史的な要素を含みます。」としています。



図出典：世田谷区民意調査 2017 p266

\*地域：本号では、桜新町1丁目、深沢7、8丁目をさします。

●近所でみかけた、美しく心やすまる「みどり」をご紹介します。



花が少なく、多少地味な時期です。写真右端角を曲がって、敷地はさらに「みどり」の樹々に被われています。「道行く人に声をかけていただいたり、植物をお分けしたり、小さな心の繋がりが生まれています。」とのお話でした。

「みどり」の事例をご紹介します。自薦、他薦いずれも歓迎します。（掲載の際は、ご了解を得ます。）

## ●「みどり33」をご存じですか？-1面から続く。

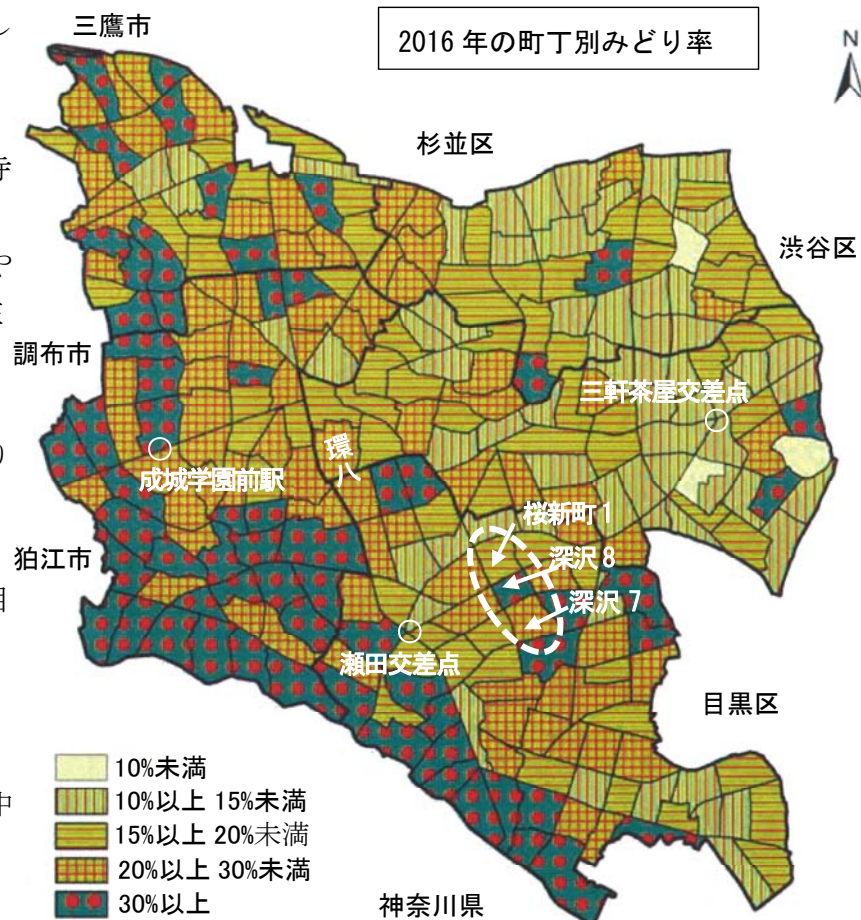
右の図は、町丁目別のみどり率を示したものです。みどり率が30%以上なのは、どんなどころでしょうか。

環八の西側は、多摩川の水面、国分寺崖線、砧公園、蘆花恒春園などの「みどり」があり、農地のほか、風致地区や建ぺい率が40%に指定されている低層住宅地があります。

環八の東側のみどり率が30%以上なのは、公園、社寺その他の大きなみどりがある町丁に限られます。

無原罪特別保護区、深沢の杜緑地、呑川親水公園、桜並木のある深沢8丁目ですら、2016年度調査で初めてみどり率が30%を超えたという状況で、『みどり33』は、達成されていません。

現在、区は、「みどりの基本計画」を改定中で、素案に対する区民等からの意見募集(10月3日締切)が終わり、今年度中に策定される予定です。



図出典：『平成28年度世田谷区みどりの資源調査』pみどり-33

## ●5年前と比べて、みどりが増えたと思いますか？

「世田谷区みどりの資源調査」によると、区全域のみどり率は、2011年の24.60%から2016年の25.18%へと5年間に0.58ポイント上がったそうです。

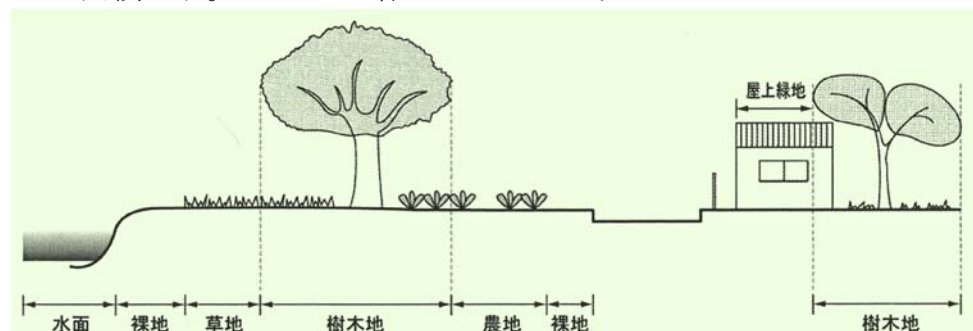
区は、上昇の主な理由を樹木の生長と開発時の緑化としています。

この5年間について、桜新町1丁目、深沢7、深沢8丁目の、緑被のうち最も面積の大きい樹木面積の増加と緑被率、みどり率の上昇は、次のようになっています。(4面に詳しいデータを示します。)

	桜新町1丁目			深沢7丁目			深沢8丁目		
	H28(2016)	H23(2011)	増減	H28(2016)	H23(2011)	増減	H28(2016)	H23(2011)	増減
樹木面積(m <sup>2</sup> )	33,268	30,734	2,534	47,916	44,887	3,029	38,044	35,192	2,852
緑被率(%)	17.91	16.75	1.16	23.32	22.82	0.50	32.19	28.89	3.30
みどり率(%)	18.09	16.99	1.10	23.57	23.11	0.46	32.51	29.20	3.31

3つの町丁のそれぞれで、樹木面積は、2,500 m<sup>2</sup>から3,000 m<sup>2</sup>増えています。合わせて8,415 m<sup>2</sup>、桜町小学校の校地面積の2/3以上の面積です。そんなに増えたのでしょうか…

深沢8丁目の緑被率の上昇3.30ポイントがすべて樹木面積の増加によると仮定すると、直径4mの樹木が直径4.06mに成長することに相当します。樹木の生長が大きく寄与するようですね。



図出典：『平成28年度世田谷区みどりの資源調査』pみどり-30

## サザエさん通りのツバメ

(一財)世田谷トラストまちづくり 野鳥ボランティア 山田茂夫

東急田園都市線桜新町駅と長谷川町子美術館を結ぶサザエさん通りは、約300mの賑やかな商店街である。古くからお住まいの方々からは、昔はツバメがスイスイ飛んでいたと聞くが、私が住み始めた20数年前からはそんな印象は無い。以前の調査では、通りの半ばにある日本同盟基督教団世田谷中央教会で1998年から3年連続で営巣した記録があるのみである。その後2013年に久々に教会で営巣したが、抱卵中にカラスに襲撃され、巣ごと無くなってしまった。寂しい限りである。

ところが、2015年5月にサザエさん通りに面した薬局、ココカラファイン桜新町店の看板下部に巣が作られた。巣の高さは地上2.5m、飛び上がれば手が届くほどである。6月初旬に抱卵を開始し、1か月後に無事雛2羽が巣立っていった。巣の場所はお店の出入り口上部であったが、店長さんやスタッフの方々の理解と協力で注意看板を作ったり、メーカーさんから糞除け箱の寄付があったりと、温かい視線に見守られながらの繁殖であった。

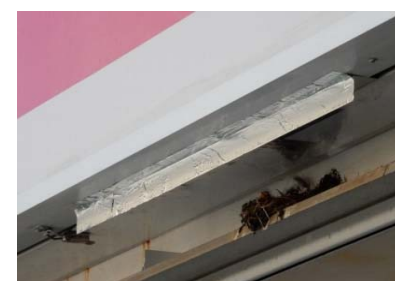
翌2016年も営巣したが、6月初旬に育っていた雛4羽がカラスの餌食となってしまう。6月下旬には2度目の抱卵が始まり7月に入って雛が確認された。今度は巣の上部にカラス除けの庇(5cm程度の垂れ壁)が取り付けられ、そんな努力の甲斐もなく、4羽の雛は再度受難に会い、巣も粉砕されてしまった。



ココカラファイン桜新町店



スタッフの鈴木さんと杉本さん



2016年 巣の前に垂れ壁設置



2017年 透明プラスチックの庇



2017年 側面を覆ってシール追加

2017年は、無くなった巣の代わりにスタッフの鈴木さんが棕櫚製の巣を取り付けてくれたが、ツバメはその横に独自の巣を作り始めた。鈴木さんと相談し、今度は大型で深い庇を計画した。材料は近くのスーパーマーケットの店長さんの協力でL型の透明プラスチックを分けてもらい、5羽の雛が確認された5月下旬に取り付けた。しかし、それでも1週間後に2羽の雛がカラスの餌食となったため、庇の側面も透明プラスチックで覆い、カラス除けの黄色いシールも張り付けた。その効果か、その後カラスの襲撃もなく6月に入って残った3羽が無事巣立っていった。続いて6月下旬には二度目の抱卵が始まり、8月に入って無事新たな2羽が巣立っていった。

この3年間、何とか無事に雛を立たせようとココカラファインのスタッフ鈴木さんが中心になり、商店街やメーカーなど多くの方の協力を得て行った努力が、無事1年に二度の巣立ちを成功させるという成果となった。巣の位置が低いため、多くの人々が足を止め、巣の様子を見て何事か話しながら去っていくのも、ほのぼのとしたサザエさん通りの景色となっている。

2000年頃の世田谷区全域でのツバメ営巣調査では、毎年300巣前後の営巣が確認された。1,000羽以上のヒナが巣立っていったことになる。その後の調査でもほぼ横ばいで、区全域としては大きな変化は無いようであるが、巣の材料である泥の採集の困難さなど生息環境の悪化は確かなようだ。

